



グレコローマン 130kg 級
2等陸曹 奥村 聡太

フリースタイル 74kg 級
2等陸尉 高谷 大地

フリースタイル 65kg 級
3等陸尉 乙黒 拓斗

グレコローマン 87kg 級
2等陸曹 阪部 創

フリースタイル 125kg 級
2等陸曹 山本 泰輝

グレコローマン 60kg 級
2等陸曹 河名真偉斗

フリースタイル 86kg 級
2等陸曹 石黒 華士

令和5年度全日本選抜レスリング選手権大会

令和5年6月15日(木)から18日(日)に、東京体育館(東京都渋谷区)において「令和5年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が開催され、第2教育課レスリング班高谷大地2等陸尉他34名が参加した。

本大会は、世界選手権代表選考を兼ねており、2022年天皇杯での成績(優勝)と今大会での成績(優勝)により各階級において代表が決まる。2大会の優勝者が異なる場合、それぞれの優勝者によるプレーオフで代表を決定する。世界選手権でメダルを獲得すれば、2024年パリオリンピック代表が内定するため、熾烈な戦いが繰り広げられた。

レスリング班は、7階級において優勝、内5階級において世界選手権代表獲得の成果を納めた。



グレコローマン 60kg 級に出場した河名真偉斗2等陸曹は、準決勝を4-1で勝ち進み決勝では稲葉選手(日体大大学院)を5-4で破って悲願の初優勝を果たし、世界選手権代表を決めるプレーオフへの出場を決めた。試合後「この大会で優勝してプレーオフに出ることを目標としてきた。優勝できてうれしい。」と目に涙を浮かべながら喜びを語った。また今後について「世界選手権に向けてスタートに立てた。プレーオフに勝利し、世界選手権に行く。オリンピックは夢に見てきた。今は夢ではなく叶える目標となった。」と力強く決意を述べた。河名2曹は、男子グレコローマンスタイル優秀選手賞も受賞した。

グレコローマン 87kg 級に出場した阪部創2等陸曹は予選をテクニカルフォールで2戦とも無失点で決勝に進んだ。決勝では、同じく予選をテクニカルフォールで勝ち進んだ角雅人3等陸曹との対決となった。2022年天皇杯でも決勝戦で戦った二人は一步も譲らない戦いを見せ、1-1でポイントの優勢により阪部2曹が優勝を手に入れた。試合後「この日のために準備をしてきた。勝ててうれしく思う。」と喜びを口にしたものの、2週間後のプレーオフに向け「細かいところを修正して、必ず勝つ。」と決意を述べた。なお、プレーオフは、角3曹との対決となり世界選手権代表を争う。



グレコローマン 130kg 級に出場した奥村聡太2等陸曹は、予選を2戦ともにテクニカルフォール、9-0、8-0と無失点で勝利し準決勝に進んだ。準決勝も、テクニカルフォール9-0で勝ち進むと、迎えた決勝戦では小畑選手(日体大)に1-1(ポイント優勢)で勝利し明治杯初優勝した。昨年度天皇杯でも優勝しているため、世界選手権代表を勝ち取った。試合後「いつもの動きができた。世界選手権ではオリンピック出場権を獲得して、オリンピックで金メダルを取りたい」と先を見据えた目標を語った。

